

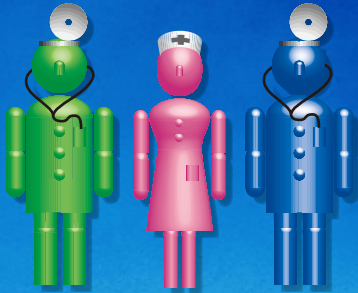
SINKO

AIR CLINIC

日本の空調機を元気にする!

エアクリニック

空調機器メーカーが提案する
空調機器の診断・メンテナンス計画



省エネで、より快適な空調環境にボタンタッチ……

AIR CLINIC

安心してより長く
ご使用いただくために。

● 専門メーカーならではの充実したアフターケアを提供。

空調設備は、定期的な保守やメンテナンスにより、長期間ご使用いただけるものです。

近年、災害への備えとして、節電やBCP(事業継続計画)対策が求められており、最新設備へのリニューアルが推進されています。

新晃工業は、より長く、より安心して空調設備をお使いいただくために「エアクリニック」を提供。

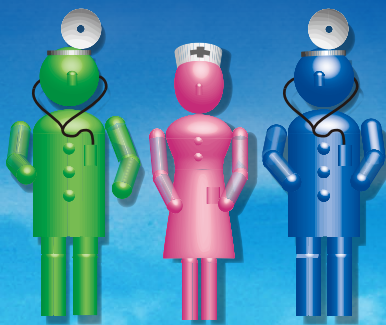
長年培ってきた技術とノウハウを活かし、保守・点検から、診断、更新までをトータルサポート。

空調機器の診断・管理を通じて、建物自体の資産価値の維持、企業のリスクマネジメントにお役に立っています。

エアクリニック

空調機器メーカーの専門技術と経験を活かした

- 省エネルギー対策
- 劣化診断
- 更新工事
- 整備工事
- 保守契約



劣化の進行を把握しづらい、空調機器

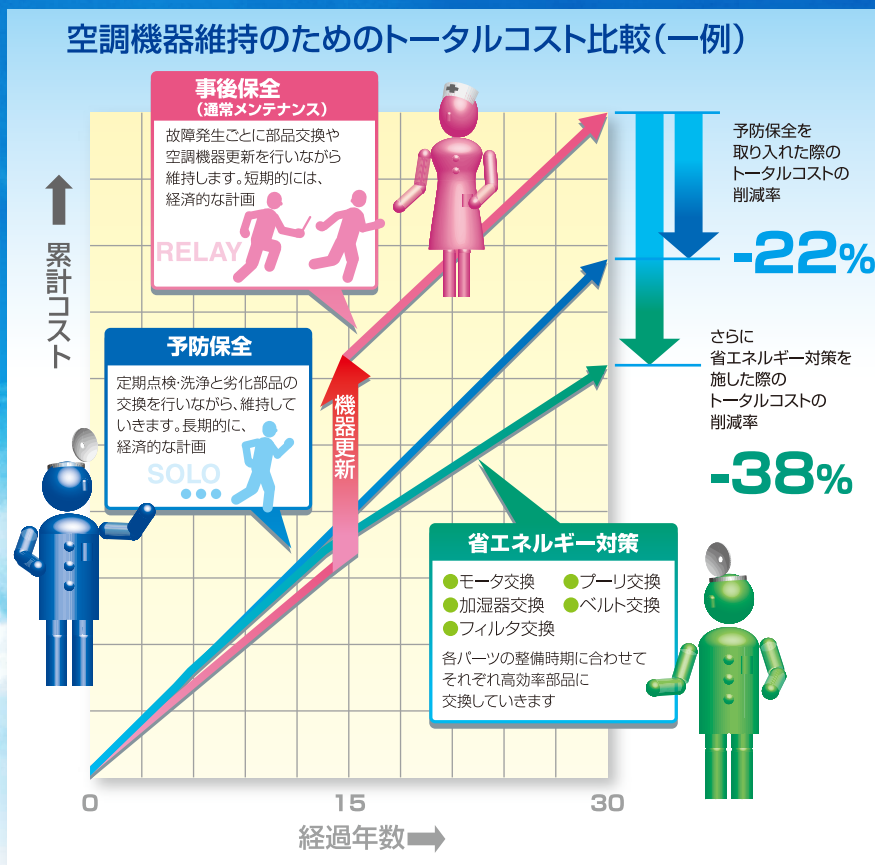
空調機器は、各部品の信頼性が高くつくられており、導入して1~2年で大きな故障を起こすことはあまりありません。ほとんどの空調機器が、ゆっくりと劣化進行してゆくため、「突然の停止」「漏水」といった急激な故障は、きわめてまれです。快適な環境を維持してゆくためには「騒音」や「不快な臭い」「ビル全体の電力量が高くなる」といった前兆を知ることが必要ですが、緩慢に進行するため見過ごしてしまうことが少なくありません。

合理的な保守のための3つの方式

空調機器に余分なコストをかけずに利用する基本的な考え方は『ビルの寿命に合わせて、空調機器を使い切る』ことにあります。そのために当社では、ライフサイクルを考慮しながら

- 1 事後保全** 故障発生ごとに部品交換や空調機器の更新を行う
- 2 予防保全** 定期点検・洗浄と劣化部品の交換を行い、維持していく
- 3 省エネルギー対策** 部品を省エネルギー対策品に交換して運転コストを下げる

…という3つの方式とこれらを複合したご提案を個別に行います。



事前の手当てでコストダウンを実現

目に見えてわかる故障や快適性の低下が明確になったときには、すでに部品や空調機器全体の交換が必要な時期になっていることが多くあります。しかも、故障の自覚にいたるまでに、電力消費量が多くなり、ムダなコストを浪費していたり、別の箇所の故障へと被害を拡大してしまう場合もあります。こうしたムダを省くために、定期的な診断と同時に計画的な部品の交換が不可欠です。

Contents

エアクリニックとは	1
エアクリニックによるご提案	2・3

予防保全のための技術	
ファンランナ/コイルフィン洗浄	4

省エネルギー対策品	
(1) トップランナーモータ	5
(2) プーリ最適化交換	6
(3) 水気化式加湿器	7
(4) ろ材交換型中高性能フィルタ	8
(5) 地球に優しい空気調和機	9
(6) ヒートポンプ空調機 II	10

劣化診断	11
更新工事	12

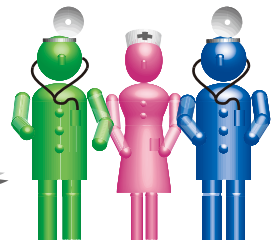
保守契約・整備工事	13
-----------	----

標準メンテナンス時間表	
(1) 標準型空調機 ベルト駆動型	14
(2) 標準型空調機 PH・RH・RV型	15
(3) コンパクト型空調機 AJDD型	16
(4) 標準型空調機/ターミナル型空調機 直動運転型	17
(5) ファンコイルユニット	18
(6) ヒートポンプ空調機 II	19

環境への取り組み	20
エアクリニックのご用命	21
エアクリニック調査シート	22

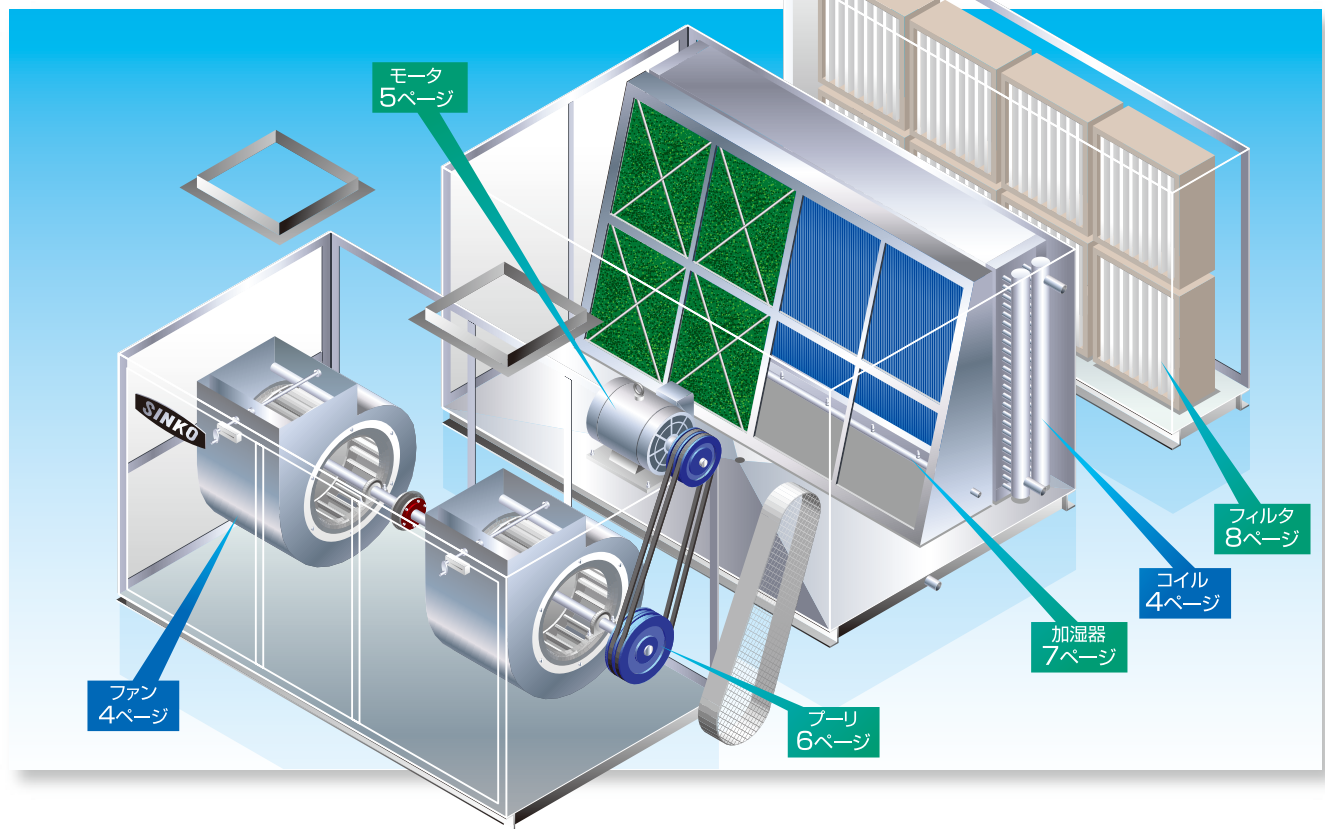
構造・システム・部材に対する深い知識と実績を持つ空調機器メーカーならではの提案。

「事後保全」
「予防保全」
「省エネルギー対策」を
上手に組み合わせて
提案します。



独自手法による空調機器診断で「低コスト・高効率」を実現する中長期計画を提案します。

たとえばプーリを運転状況に合わせて交換するだけで、年間約4万円以上もの消費電力を低減できることがあります。当然ながら、最適なプーリの選定は、専門の知識と経験が不可欠です。そうした空調機器メーカーだからできる、専門的な診断と提案を行うのが『SINKOエアクリニック』です。中長期的視野で確実にトータルコストを低減できるノウハウの提供をお約束します。



予防保全のための技術

ファンランナ/コイルフィン洗浄 4ページ

- クリーンで健康な空気環境を維持
- 性能回復、機器の長寿命化を実現

省エネルギー対策品

1. トップランナーモータ 5ページ

- 長時間使うほど省エネルギー効果が大きい

5. ろ材交換型中高性能フィルタ 8ページ

- ろ材のみの処理になるため、産業廃棄物も減少

2. プーリ最適化交換 6ページ

- 空調機器メーカーならではのノウハウを活用

6. 地球に優しい空気調和機 9ページ

- 部材と構造を見直し、地球環境に貢献

3. 水気化式加湿器 7ページ

- 適度な加湿により、健康で快適な環境づくりにも貢献

7. ヒートポンプ空調機 II 10ページ

- 環境に優しいハイレベルな空調を実現

劣化診断

診断結果をもとに適切な提案

- 機器の余命診断、省エネ対策品
- 空調機器のライフサイクルに合わせて提案 11ページ

更新工事

空調機器の更新

- 将来を見据えた空調を実現するチャンス
- 大幅な電力削減の提案が可能 12ページ

保守契約・整備工事

空調機器の保守契約・整備工事

- 空調機器の寿命を伸ばす年間保守契約
- 本来の性能に回復させる定期整備工事 13ページ

定期的な洗浄により、
機器の性能回復・長寿命化に貢献します。

汚れたランナや
フィンを通して
空気も汚れてしまいます。

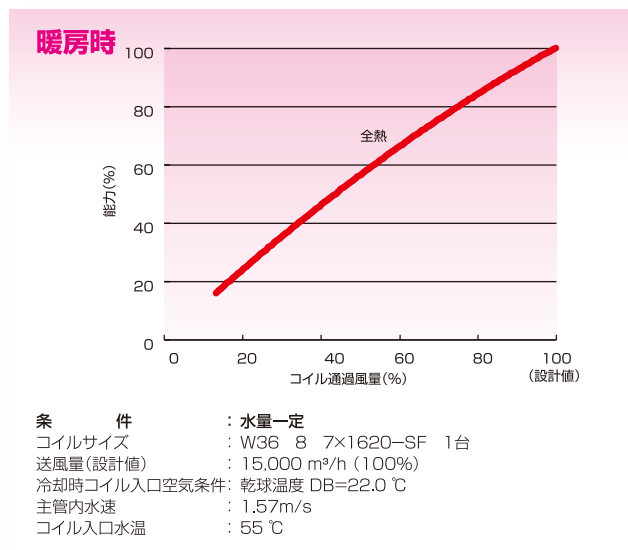
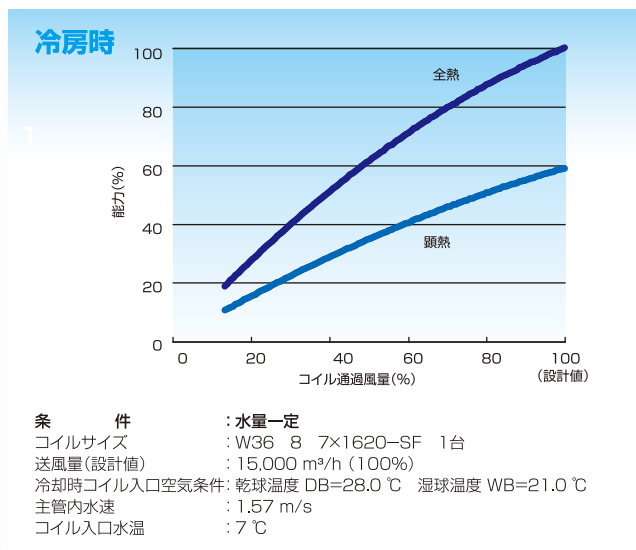


ファンランナ・コイルフィン洗浄とは…

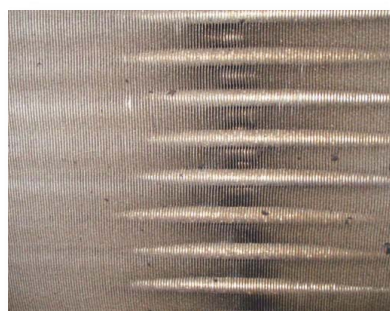
私たちが生きていくために、空気と水は不可欠ですが、水に比べ空気環境について、普段あまり取り上げられることがありません。私たちが一日に吸う空気は1万5千~2万リットルで6畳の部屋一杯ほど。その質量は約20~30kgもあり、人間が体内に最も多く採り入れている物質です。一般家庭で使用するエアコンと同様に、空調機のファンランナやコイルフィンも、使用しているうちに汚れます。定期的な洗浄により、クリーンな空気の維持とともに、性能回復、機器の長寿命化を実現します。

風量変化による能力変化

汚れによる風量低下は大きな性能損失となります。



● 施工例



コイルフィン



洗浄前 洗浄後



ファンランナ



洗浄前 洗浄後

● その他の予防保全

- ・モータ交換
- ・モータ軸受交換
- ・ファン軸受交換
- ・機内清掃
- ・機内塗装
- ・ファンダンパシャフト交換
- ・Vプーリー交換
- ・Vベルト交換
- ・中性能フィルタ交換
- ・プレフィルタ交換
- ・加湿器交換
- ・加湿器用エリミネータ交換
- ・室外機圧縮機
- ・室外機送風機
- ・室外機電装部品

省エネ新基準に対応 標準モータ(IE1)、高効率モータ(IE2)に比べ 電力低減を実現する、トッランナーモータ。

省エネ効果が
大きく経済性向上。
早めの切り替えが
おすすめです。



2013年11月1日付けで「省エネ法」の政省令・告示改正(交流電動機の追加等)が公布・施行されました。そのため、2015年4月以降、モータの製造事業者が出荷するモータおよび輸入されるモータは省エネ基準に適合したものしか出荷・販売ができなくなりました。既設のモータを交換もしくは新規でモータを購入する場合はトッランナーモータとなります。

トッランナーモータとは…

トッランナーモータは、損失を低減するため、合理的な設計と損失の少ない材料を採用し、効率を一段と向上させたモータです。プレミアム効率化設計にとまないイニシャルコストは上がりますが、損失低減によりランニングコストの軽減が図れます。

トッランナーモータの特長

1. 長時間使うほど省エネルギー効果が大きく、経済性を向上。
2. エネルギー使用量が低減でき、二酸化炭素の発生を減らし環境保全に貢献。

おすすめポイント

劣化診断によるモータの寿命に合わせて、トッランナーモータに交換することが最も経済的

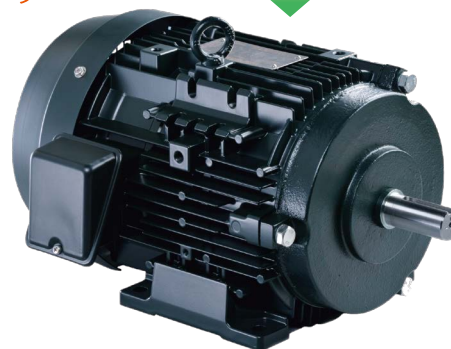
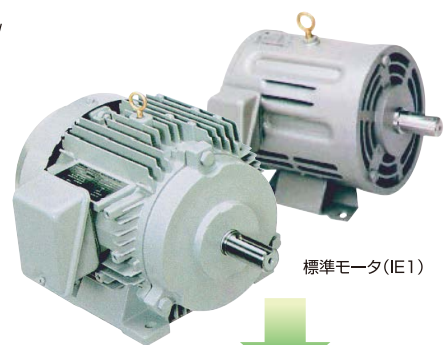
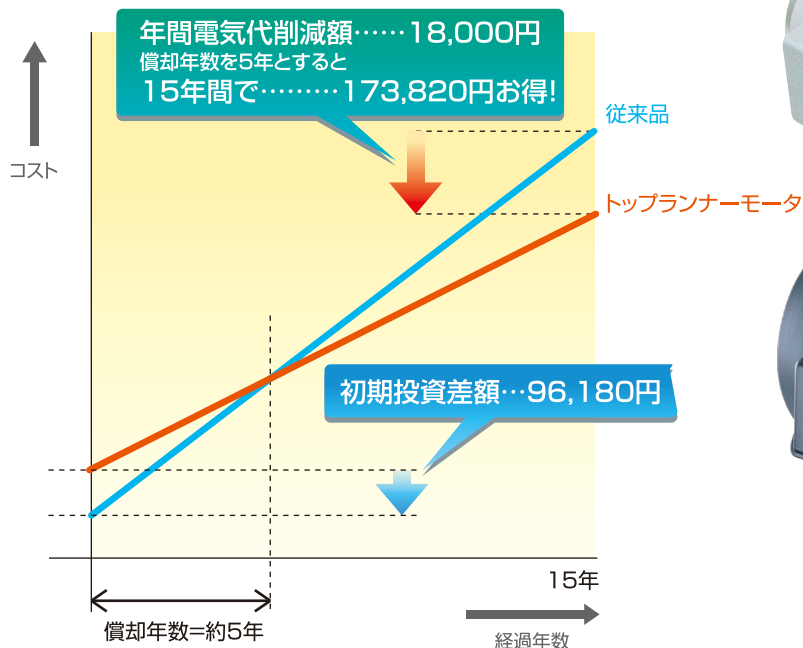
トッランナーモータに交換する際の注意事項

1. モータサイズが現行機より大きくなる場合があります。
2. モータの定格回転速度が高くなる傾向にあります。
3. 始動電流が大きくなる傾向にあります。
4. モータは発生トルクが大きくなる傾向になります。
5. 低始動電流仕様のモータの製作ができなくなります。

施工例

条件

1. モータ仕様 : (交換前) 標準モータ(IE1) 防滴保護型 3相 200V 50Hz 4極 11kW
(交換後) トッランナーモータ 全閉外扇型 3相 200V 50Hz 4極 11kW
2. モータ負荷率 : 100%
3. 年間稼働時間 : 3,000時間
4. 電気料金 : 12円/kWh
5. 交換費 : 別途



空調機器メーカーのノウハウを省エネルギーに活かす、プーリ最適化交換。

プーリ最適化とは…

空調機器メーカーならではのノウハウにより、回転数を算出し、最適なプーリ選定を行います。

空間の利用形態の変化に合わせた省エネ対策です。



● プーリ最適化交換の特長

室内環境の変化などにより、吐出ダンパや空気調和機内の風量調整機構で風量を絞って設定している場合、送風機にかかる圧力が大きくなります。プーリ最適化交換することで、現状の風量を確保しながら、絞ったダンパや風量調整機構を開けて送風機の圧力を低くし、回転数を下げることによって、室内環境を変えることなくモータの消費電力を少なくできます。

● おすすめポイント

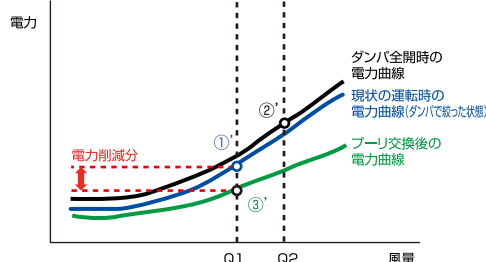
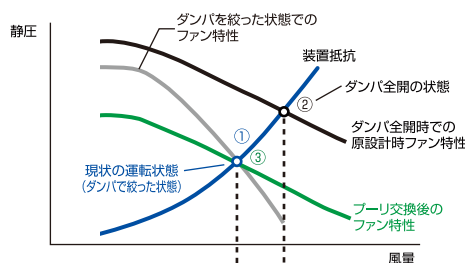
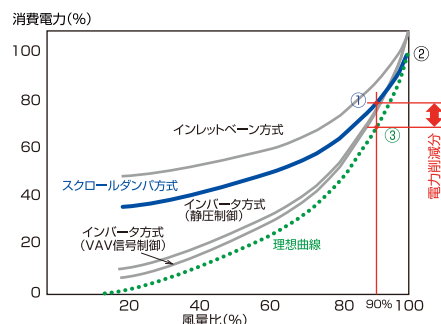
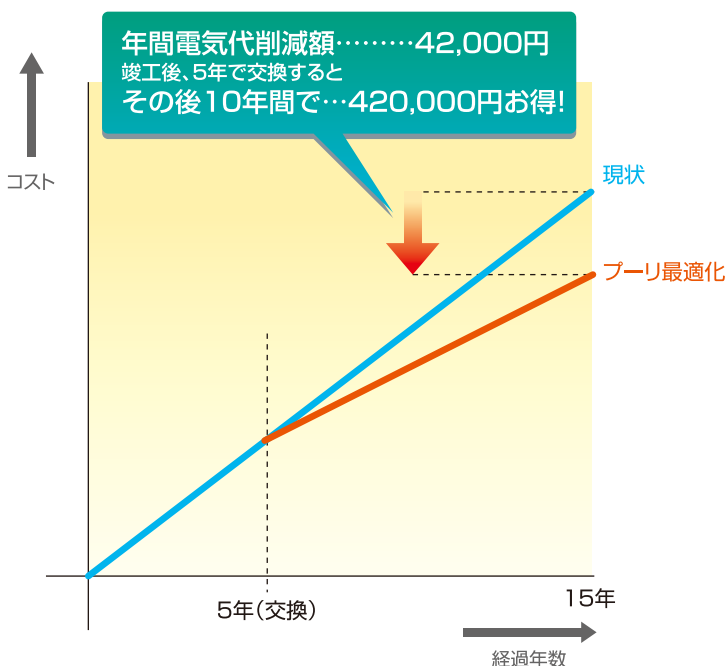
風量調整機構で風量を絞っていませんか？
給気ダクトの吐出ダンパ風量を絞っていませんか？

➔ プーリ最適化交換により電力が削減できます。

● 施工例

条件

- スクロールダンパ(風量調整機構)で風量を10%絞って設定している場合
①=90% ②=100% ③=90%
- モータ仕様 : 標準モータ 防滴保護型 3相 200V 50Hz 4極 11kW
- モータ負荷率 : モータ負荷率:100%
- モータ効率 : モータ効率:88%
- 年間稼働時間 : 年間稼働時間:3,000時間
- 電気料金 : 電気料金:1.2円/kWh
- 交換費 : 別途



水スプレー加湿器に比べ 省エネルギー性が高い、水気化式加湿器。

水気化式加湿器とは…

空気を湿ったエレメント表面に接触させることにより、蒸発による加湿を行う方式です。空気が加湿エレメントを通過するだけなので消費電力が小さく、20W以下です。また水の自然蒸発を利用するため、エリミネータの併設は不要です(通過風速3.5m/s以下)。構造はシンプルで組み込みスペースも小さくて済みますので、ご使用中の空調機に無理なく取付けられます。

冬期は適度な湿度を保つことで快適性がアップします。



●水気化式加湿器の特長

1. 約20Wの低消費電力
2. エリミネータの併設が不要

【改善による適度な湿度の効果】

1. ウイルスの活動を抑え、健康を守ります。
2. 静電気を防ぎます。
3. 室温が低めでも暖かく感じ、暖房効果を高めます。

●おすすめポイント

1. 飽和効率が良いため、湿度不足の改善に効果的
2. 加湿を必要としない夏期は、エレメントを取り外すことにより電力削減も可能

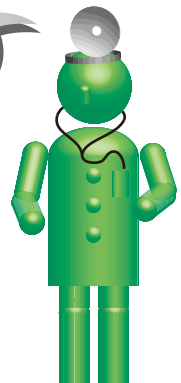
定期的なメンテナンスで快適な空気環境を維持します。

気化式加湿器の加湿モジュールは 定期的な洗浄・交換が必要です。

加湿能力の維持・回復および衛生面への配慮等、より快適な環境作りのためにも定期的な点検整備および加湿モジュールの洗浄・交換を推奨いたします。

- 加湿モジュールは運転時間の経過とともに徐々に汚れてきます。
- ビル衛生管理法では加湿装置の汚れ状況を1ヶ月以内ごとに1回点検(必要に応じて清掃)すること、1年以内ごとに1回、定期的に清掃を行うことを義務づけています。

省エネ効果が大きく経済性向上。早めの切り替えがおすすめです。



加湿モジュールの交換



交換前

交換後

●おすすめポイント

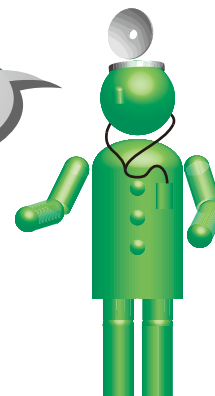
1. 専門のサービスマンによる洗浄・交換作業ですので手間いらずで安心です。
2. 現場調査から作業・試運転確認まで一貫したサービスをご提供します。

ろ材だけを交換し、枠を再利用する、ろ材交換型中高性能フィルタ。

ろ材交換型中高性能フィルタとは…

ろ材とフレーム部分が一体化していた従来の中高性能に対し、ろ材と枠を分離したことで交換時、ろ材のみを交換し、枠は再利用できる構造になっています。交換したフィルタは産廃処理されますが、ろ材のみの処理になるため、廃棄量削減にもなります。

ろ材と枠を分離できる合理的な構造がムダを省きます。



●ろ材交換型の特長

1. ランニングコストを削減
2. 産業廃棄物を低減

●おすすめポイント

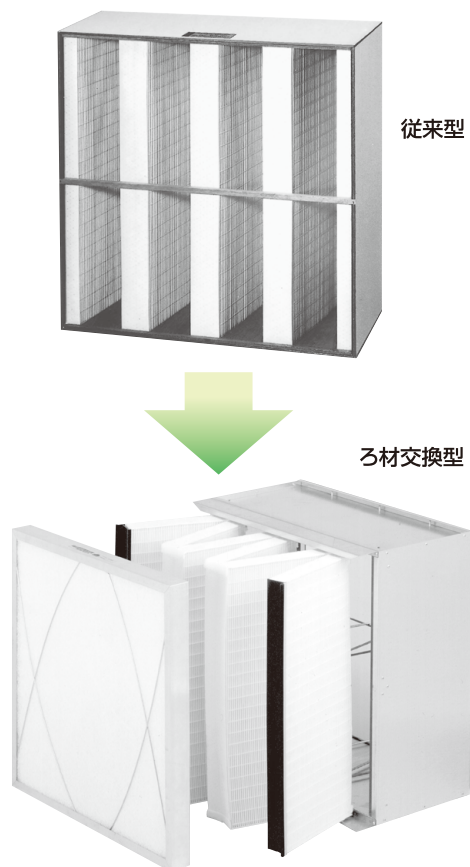
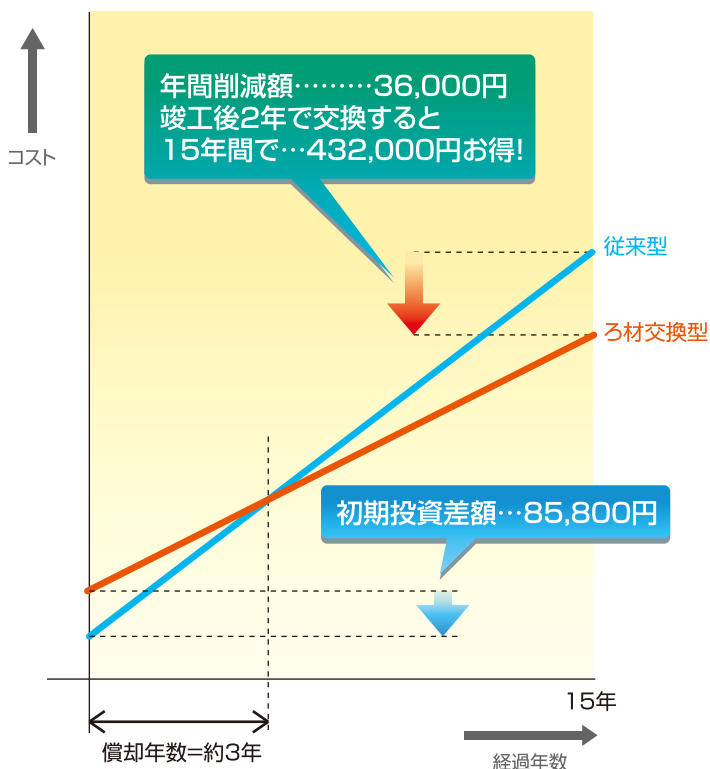
1. 容積が約50%減 → 産業廃棄物の低減
予備ろ材保管場所の省スペース化
2. 交換作業が簡単なため、作業コスト約30%減



●施工例

条件

1. フィルタ枚数 : (交換前)従来型 フル4枚、ハーフ2枚
(交換後)ろ材交換型 フル4枚、ハーフ2枚
2. 送風量 : 15,000m³/h



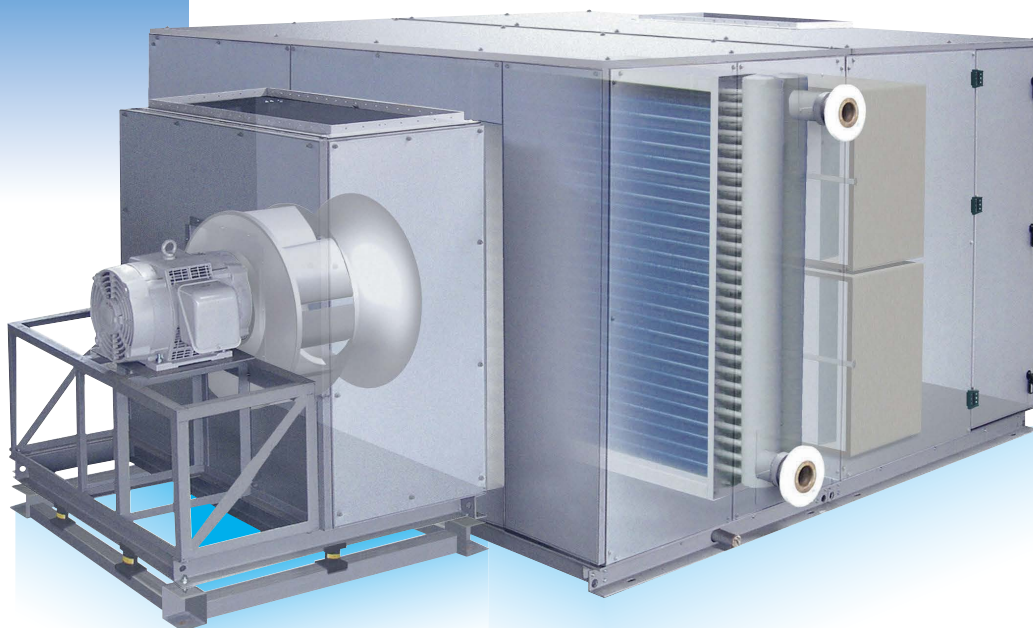
部材と構造の見直しで、高効率、省エネ、メンテナンス性・耐久性を大幅向上。

環境への貢献を指向し、部材と構造の徹底的な見直しで高効率、省エネルギー化、メンテナンス性と耐久性を大幅に向上させました。

標準型空調機は環境貢献をも考慮した実力派です。



PH型



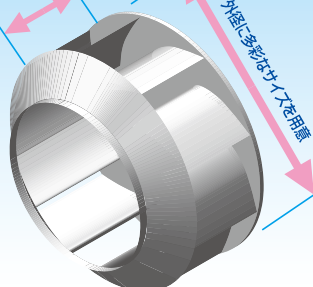
メインフレームにステンレスを採用することで、防錆力を向上

空気調和機のメインフレームをステンレス製にすることにより、塗料の使用量を削減。これにより、さらなるCO₂削減が実現できました。また、メインフレームをステンレス製にすることにより、年間を通して湿度の高い空気調和機内において、メインフレーム部分の錆の発生をシャットアウトします。



ランニングコストを低減する
オーダーメイドランナ

ブレード幅を
任意に設計



送風機ランナは自社内製作。しかも仕様に合わせて最適化するオーダーメイドランナ方式

ダブルプラグファンおよびプラグファンは、自社内で設計・製作する体制を確立。しかも高効率運転実現のために、現場仕様ごとに風量と静圧に基づいて都度設計するオーダーメイドランナ方式を採用。仕様に合わせてひとつひとつ設計・製作します。これによりランニングコストに関わる軸動力を大幅に低減します。また、主要部品であるパネル、ファンガイドなどの製作、および各部位の塗装なども自社で行い、高いレベルでの品質の安定と、リードタイムの短縮を図っています。

自由設計+充実の基本性能で快適環境を創造するヒートポンプ空調機Ⅱ。

空調機と室外機を刷新し、自社製システムで構成しました。室外機自社供給体制により、空調機をはじめとする新晃ブランドでシステム設計が可能です。さらに導入後のメンテナンスは全国の拠点がワンストップで対応。快適な空調空間の創造と安心の導入・運用をお手伝いします。

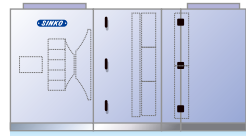
環境に優しい
ハイレベルな空調を
実現します。



ラインアップ豊富な空調機

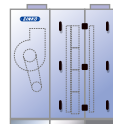
空調機は最大80,000m³/hまで幅広くラインアップ。高静圧への対応も可能です。中規模ビルから体育館や工場等の大空間まで幅広く対応します。

80,000m³/h*



*設計条件により異なります

1,500m³/h*



●カタログをご用意しています

ヒートポンプ空調機Ⅱシリーズ
カタログをご用意しています。
当社担当営業までお申しつけください。



自社対応の室外機

室外機自社供給体制を導入し、空調機をはじめとする新晃ブランドでシステムを設計することができます。室外機は8~54馬力をラインアップ、最大10台(540馬力相当)まで接続することで、幅広い空気条件下での使用が可能です。

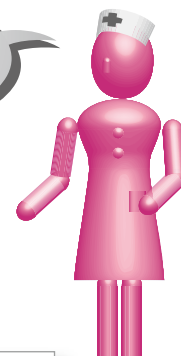
8馬力

540馬力



空調機器メーカーの技術と経験に基づき ライフサイクルに合わせて提案します。

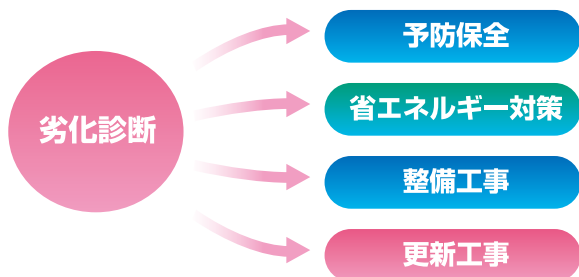
ビルの寿命を考慮しつつ、
オーナー様のビル運営方針を
活かします。



■ 劣化診断のメリット

- 空調機器の劣化状況を診断
- オーナー様のビル運営方針を活かし、予防保全、整備工事、更新工事などを提案
- 空調機器の更新時期に合わせ、効果的な省エネルギー対策品を提案

診断からの流れ



● 劣化診断シートの例

項目	劣化状況	対策	備考
ファン室	①ファンラジエーターの劣化による送風能力の低下が確認されています。 ②ファンハウジングの錆が確認されています。 ③ファン室底板上に塵埃が堆積しています。	①ファンラジエーターの交換 ②ファンハウジングの塗装 ③底板上の清掃	①送風能力の低下により、室内の温度が上昇する可能性があります。 ②錆の進行により、ファンハウジングの強度が低下する可能性があります。 ③塵埃の堆積により、送風能力が低下する可能性があります。
コイル室	①コイルフィンに塵埃が付着し、送風能力が低下しています。 ②コイルヘッド部分に錆が確認されています。	①コイルフィンの清掃 ②コイルヘッド部分の塗装	①送風能力の低下により、室内の温度が上昇する可能性があります。 ②錆の進行により、コイルヘッド部分の強度が低下する可能性があります。
加湿器	①加湿器エレメントが汚れており、加湿能力が低下しています。 ②加湿器の目詰まりがひどく、水が漏れ出しています。	①加湿器エレメントの交換 ②加湿器の清掃	①加湿能力の低下により、室内の湿度が低下する可能性があります。 ②水漏れにより、加湿器周辺の機器が故障する可能性があります。
外板	①外板下部に錆が確認されています。	①外板下部の塗装	①錆の進行により、外板の強度が低下する可能性があります。
ファン室断熱材	①ファン室断熱材が剥離しています。	①断熱材の交換	①断熱材の剥離により、室内の温度が上昇する可能性があります。
ドレンパン	①ドレンパンに錆が確認されています。	①ドレンパンの交換	①錆の進行により、ドレンパンの強度が低下する可能性があります。
プレフィルタ	①プレフィルタが汚れており、送風能力が低下しています。	①プレフィルタの交換	①送風能力の低下により、室内の温度が上昇する可能性があります。

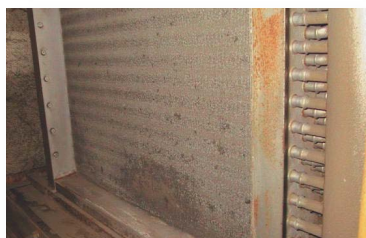
● 劣化診断例 (経過年数 20年～)

◆ ファンランナ



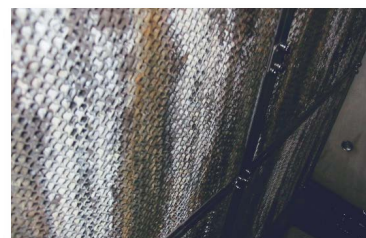
粉塵付着とファンハウジングの錆のため
(要整備)

◆ コイルフィン



フィン面粉塵付着とコイル枠の錆のため
(要整備)

◆ 加湿器



加湿器エレメント汚れ、目詰まりがひどく
(要更新)

◆ ファン室底板



ファン室機内汚れのため (要整備)

◆ コイルヘッド



ヘッド部分に錆がひどく (要更新)

◆ 外板



外板下部錆のため (要整備)

◆ ファン室断熱材



ファン室機内断熱材剥離のため (要整備)

◆ ドレンパン



ドレンパン発錆のため (要整備)

◆ プレフィルタ



プレフィルタ劣化がひどく (要更新)

経済性を高め、新しい価値を生み出す空調機器の更新。

省エネルギー対策品の空調機に更新すれば、ビル全体の大幅な節電ができることがあります。



■ 更新工事のメリット

- 省エネルギー対策品の提案
- 経済性・快適性を向上
- ビルの業務を続けながら実施可能
- 新しいスペースの創出も可能
- 更新工事の工期短縮を実現

ビルの竣工とともに設置された空調・電気・計装などの各種設備は、利用時間や経年変化による老朽化が避けられません。これらの設備は保守管理を徹底しても物理的な劣化は避けられず、次第に能力が低下していきます。こうした設備機器を取り替える作業が「更新」です。更新は、単に取り替えるだけでなく、将来を見据えて先進の性能を採り入れる絶好の機会でもあります。

空気調和機全体の更新

各現場の搬入スペースに合わせ現場組立型空調機、コンパクト型、天吊型など、多彩な空気調和機をご用意しています。OA化による室内負荷やスペースの用途変更にもなう、機器の風量・静圧・能力変更など設計改造も、この機会にご相談ください。

大幅な電力の削減を実現

ビルの快適性を保つために欠かせない空調機器の電力消費量は、実にビル全体の40～50%を占めています。オフィスの急速なOA化から、電力消費はますます増大する傾向にあります。省エネルギー対策型への更新は、ビル全体の電力消費を低減する決定的な解決策ともなります。

● 空気調和機の更新例



期待以上の効果を実現する 空調機器のメンテナンス。

■ 空調機器の保守契約・整備工事のメリット

- ランニングコストを低減
- 故障の予防
- 機器寿命の延長
- 快適性の維持
- ライフサイクルコストの把握

空調機器は、故障や事故のきわめて少ない設備機器のひとつです。15～20年の使用は一般的で、それ以上の期間、利用されていることも珍しくありません。しかし、稼働時間が長くなると部品の磨耗や劣化が起こり、確実に能力が低下します。そこに人の手を加えて、効率を維持するのがメンテナンスです。メンテナンスは、空調機器を熟知しているばかりでなく、部品の寿命や使用状況を把握し、調整や整備、部品の交換を適切に行えなくてはなりません。



年間保守契約

定期的に適切なメンテナンスを行うことで、機器本体の寿命を延ばし、建物資産価値を維持することが可能です。また、中長期の修繕計画の立案・提案を行うことで、長期的な資産管理が行えます。そのためにも年間保守契約をおすすめします。

定期整備工事

部品・部材の寿命にともなう定期整備工事は、性能を回復させ、機器の寿命を延ばします。その際、適切な判断をもとに要所に省エネルギー対応品を活用すると、経済性を格段に高めることができることがあります。ぜひ、ご相談ください。

◆ プレフィルタの洗浄



◆ メインフィルタの交換



◆ 軸受の振動測定



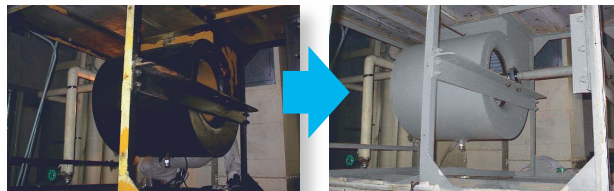
◆ 軸受の聴音診断



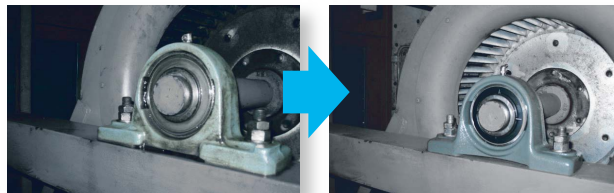
◆ プーリーの芯出し調整



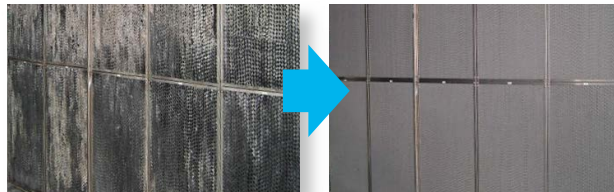
◆ 機内清掃・ケレン・塗装



◆ ファン軸受交換



◆ 加湿器ろ材交換



■ 空調調和機の主なメンテナンス

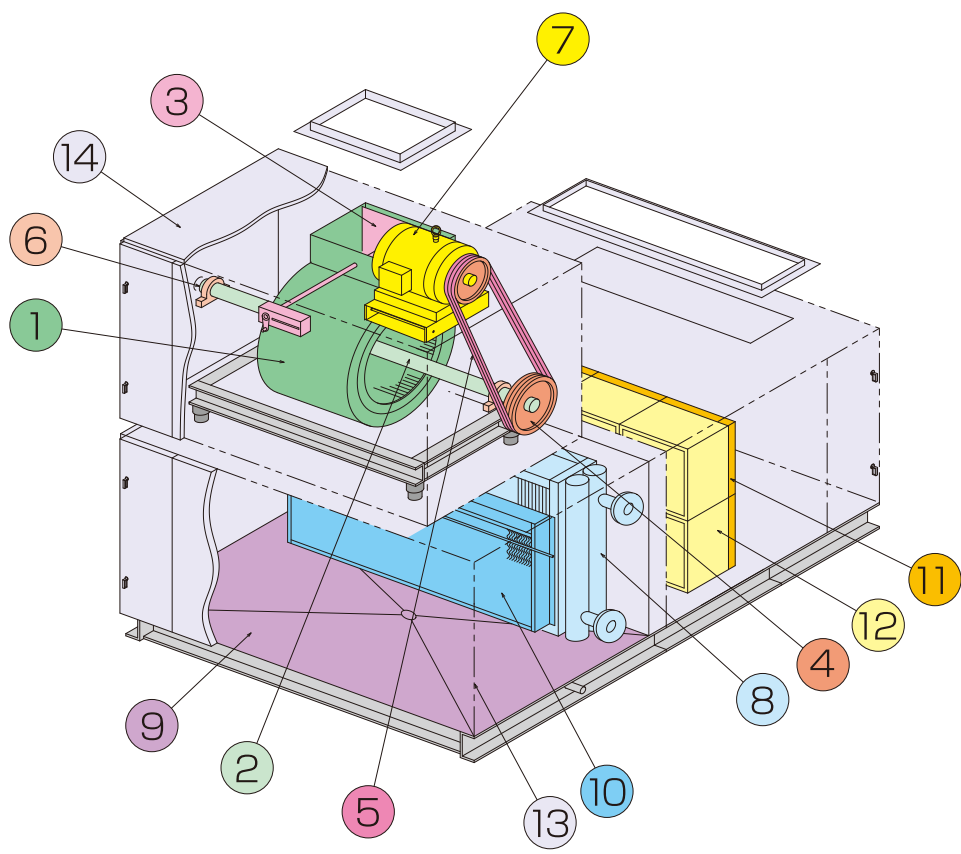
年間保守契約	定期整備工事
プレフィルタの清掃・洗浄 機器の定期点検 メインフィルタの交換 ドレンパンの清掃 水気化式加湿器のモジュールの洗浄	機内の清掃・塗装 ファンランナの洗浄 コイルフィンの洗浄 軸受の交換 加湿器の交換 モータの交換

※このメンテナンス時間表は空調機の保守点検の目安としていただく表になります。

標準メンテナンスサイクル		【1日10時間運転,年間3000時間稼働】															
品名	年数																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
①ファン		▲	▲	▲	▲	★		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○
②ファンシャフト		▲	▲	▲	▲	★		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○
③ダンパ (オプション)		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○
④Vプーリ		▲	▲	▲	▲	○		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○
⑤Vベルト		▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	○
⑥ファン軸受		▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	○
⑦モータ		▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	○
⑧コイル		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○
⑨ドレンパン		▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	○
⑩水気化式加湿器		▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	○
⑪粗塵フィルタ (プレフィルタ)		▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	○
⑫中・高性能フィルタ (メインフィルタ)		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○
⑬ケーシング		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○
⑭外装パネル		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○

▲ 点検・調整 ▲ 清掃 ▽ 注油 ◆ 分解点検
 ★ 洗浄 ☆ 塗装 ◇ 部品交換 ○ 取り替え
 [▲点検・調整]には清掃や補修塗装等を含みます

※メンテナンス時間表は、一般的な目安を示し、使用状況、設置条件等によって変化し、別途配慮が必要な場合があります。
 ※運転時間 1日10時間、年間300日、年間3000時間
 備考 特殊仕様は製品の詳細が若干異なり、内容やサイクルが変わりますので、別途お問い合わせ願います。
 特に、エアフィルタは機器の設置環境によって、メンテナンスサイクルが異なります。
 ※運転電流値・異音・異常振動等は日常点検でもご確認いただくことをお勧めいたします。



※このメンテナンス時間表は空調機の保守点検の目安としていただく表になります。

標準メンテナンスサイクル 【1日10時間運転,年間3000時間稼働】		▲ 点検・調整	△ 清掃	▽ 注油	◆ 分解点検											
		★ 洗浄	☆ 塗装	◇ 部品交換	◎ 取り替え											
		「▲点検・調整」には清掃や補修塗装等を含みます														
品名	年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
①ファン						★					★					◎
②自立式ダンパ (RH・RVのみ)						★					★					◎
③モータ		▽	▽	◆			◇				◆					◎
		2ヶ月毎に点検 注油時は6ヶ月毎					軸受									
④コイル		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
			☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
			☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	
⑤ドレンパン		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
		1ヶ月毎に点検														
⑥水気化式加湿器		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
		1ヶ月毎に点検					◇									
							加湿モジュール交換									
⑦粗塵フィルタ (プレフィルタ)		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
		1ヶ月毎に清掃														
⑧中・高性能フィルタ (メインフィルタ)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
⑨ケーシング		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
		☆				☆					☆					
		1年毎				塗装部位全て										
⑩外装パネル		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎

※メンテナンス時間表は、一般的な目安を示し、使用状況、設置条件等によって変化し、別途配慮が必要な場合があります。

※運転時間 1日10時間、年間300日、年間3000時間

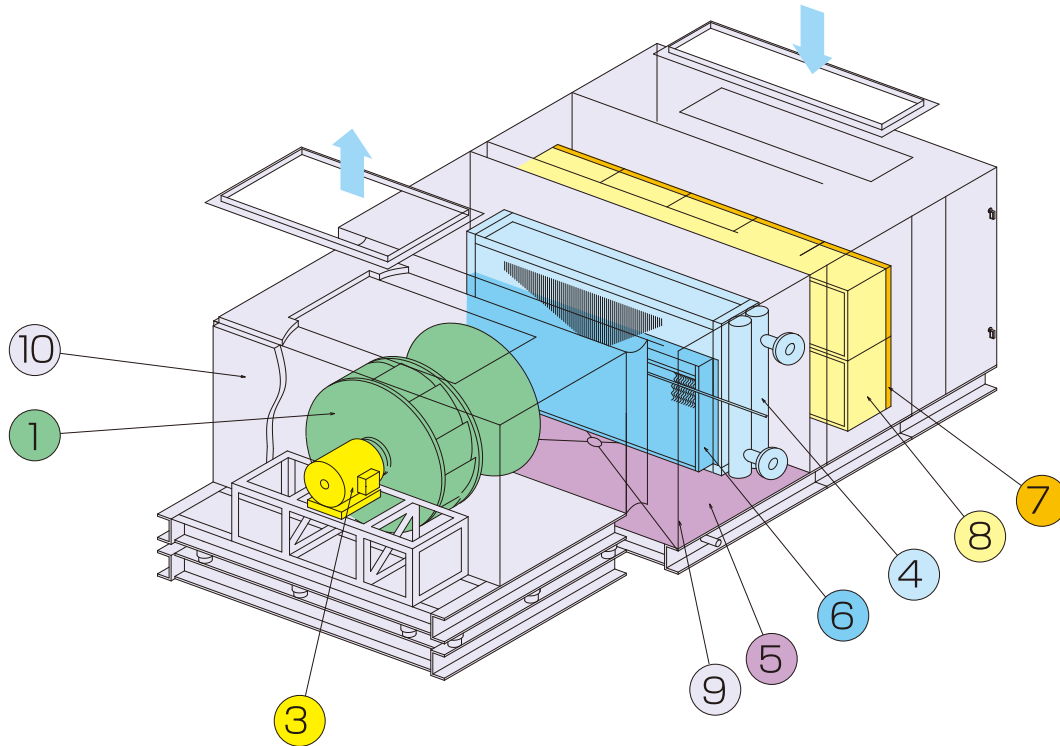
備考

特殊仕様は製品の詳細が若干異なり、内容やサイクルが変わりますので、別途お問い合わせ願います。

特に、エアフィルタは機器の設置環境によって、メンテナンスサイクルが異なります。

※運転電流値・異音・異常振動等は日常点検でもご確認いただくことをお勧めいたします。

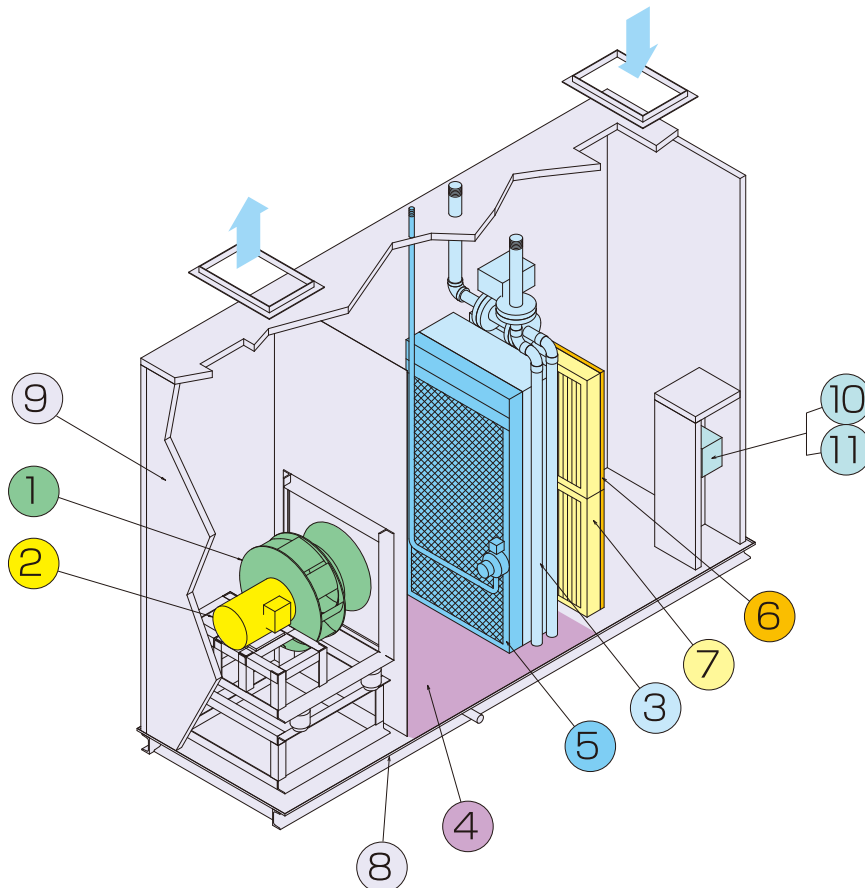
※RH-B、RV-B型はファンモーター一体で約40000時間ごとの交換となります。



※このメンテナンス時間表は空調機の保守点検の目安としていただく表になります。

品名	年数	標準メンテナンスサイクル 【1日10時間運転,年間3000時間稼働】														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
①ファン						★										◎
②モータ		▲▲▲▲	▽注油式は6ヶ月毎	◆				◇軸受							◇軸受	◎
③コイル		▲	★塗装部位	▲	★	▲	★	▲	★	▲	★	▲	★	▲	★	◎
④ドレンパン		▲▲▲▲	1ヶ月毎に点検													◎
⑤水気化式加湿器		▲▲▲▲	1ヶ月毎に点検					◇加湿モジュール交換								◎
⑥粗塵フィルタ (プレフィルタ)		▲▲▲▲	1ヶ月毎に清掃					◇材質交換頻度は使用環境で異なる								◎
⑦中・高性能フィルタ (薄型) (メインフィルタ)								◇交換頻度は使用環境で異なる								◎
⑧ケーシング		★補修は1年毎				★塗装部位全て										◎
⑨外装パネル		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
⑩制御盤内 (フィルタ,排熱ファン,各種電気部品)		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
⑪インバータ (冷却ファン,コンデンサなど)			◇冷却ファン2年毎			◇電解コンデンサ5年										◎

※メンテナンス時間表は、一般的な目安を示し、使用状況、設置条件等によって変化し、別途配慮が必要な場合があります。
 ※運転時間 1日10時間、年間300日、年間3000時間
 備考 特殊仕様は製品の詳細が若干異なり、内容やサイクルが変わりますので、別途お問い合わせ願います。
 特に、エアフィルタは機器の設置環境によって、メンテナンスサイクルが異なります。
 ※運転電流値・異音・異常振動等は日常点検でもご確認いただくことをお勧めいたします。



※このメンテナンス時間表は空調機の保守点検の目安としていただく表になります。

標準メンテナンスサイクル 【1日10時間運転,年間3000時間稼働】		▲ 点検調整	△ 清掃	▽ 注油	◆ 分解点検											
		★ 洗浄	☆ 塗装	◇ 部品交換	◎ 取り替え											
		[▲点検調整]には清掃や補修塗装等を含みます														
品名	年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
①ファン						▲					▲					◎
②モータ		▽	▽	◆			◇			◆			◇			◎
③コイル		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
④ドレンパン		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
⑤水気化式加湿器		▲	▲	▲	▲	▲	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◎
⑥粗塵フィルタ (プレフィルタ)		◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◎
⑦中・高性能フィルタ (メインフィルタ)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
⑧外装パネル		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
⑨インバータ (冷却ファン,コンデンサなど)		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎

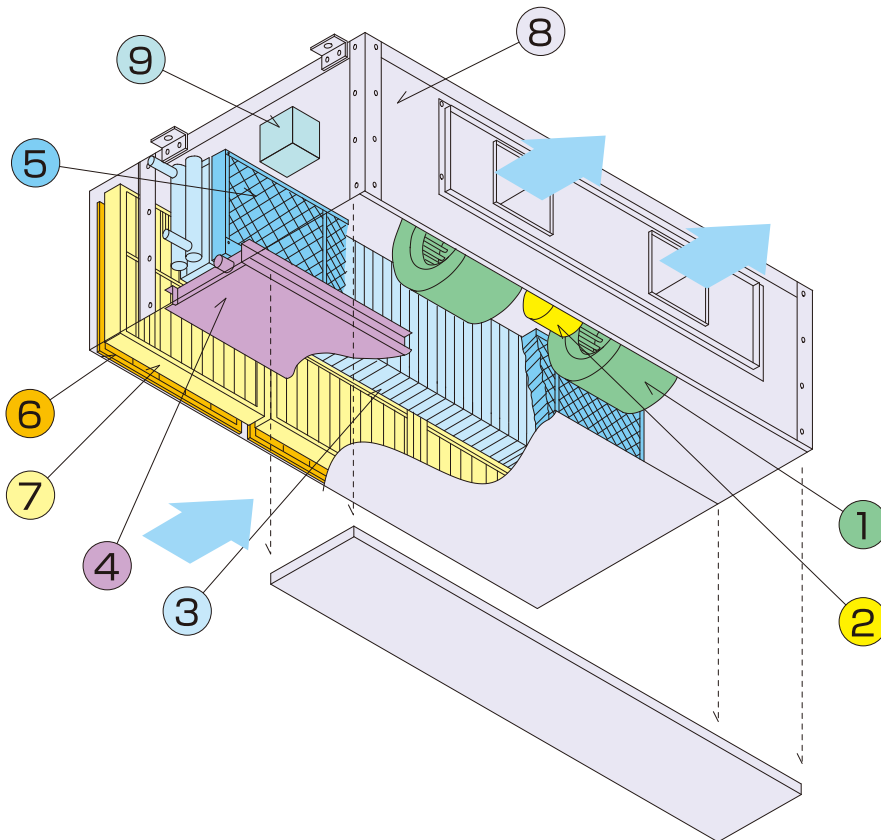
※メンテナンス時間表は、一般的な目安を示し、使用状況、設置条件等によって変化し、別途配慮が必要な場合があります。

※運転時間 1日10時間、年間300日、年間3000時間

備考 特殊仕様は製品の詳細が若干異なり、内容やサイクルが変わりますので、別途お問い合わせ願います。

特に、エアフィルタは機器の設置環境によって、メンテナンスサイクルが異なります。

※運転電流値・異音・異常振動等は日常点検でもご確認いただくことをお勧めいたします。



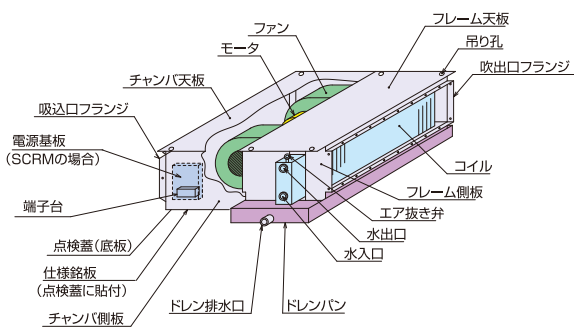
■標準メンテナンス時間表

次に示すファンコイルユニットメンテナンス時間表は、一般的な目安を示し、使用状況、設置条件等によって変化し、別途配慮が必要な場合があります。

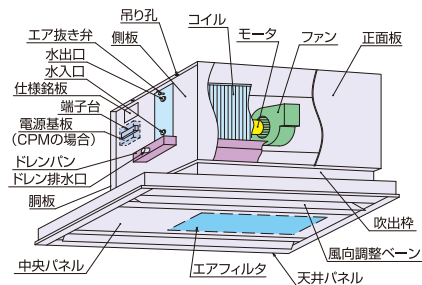
点検記号	▲ 点検・調整	○ 部品交換	■ 洗浄	● 交換	□ 清掃													
品名	5000h		10000h		15000h		20000h		25000h		30000h		35000h		40000h		45000h	
ファン	▲	□	▲	□	▲	□	▲	□	▲	□	▲	□	▲	□	▲	□	▲	□
モータ	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
コンデンサ	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
運転スイッチ	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
コイル	▲	□	▲	□	▲	□	▲	□	▲	□	▲	□	▲	□	▲	□	▲	□
ドレンパン	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
エアフィルタ	■	○	■	○	■	○	■	○	■	○	■	○	■	○	■	○	■	○
内貼材等	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
ケーシング	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
電気部品	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
電源基板 (CPM, SCRM, SFM, SFRM)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
備考	※ 運転時間 1日10時間、年間300日、年間3000時間 ※ 特殊仕様は製品の詳細が若干異なり、内容やサイクルが変わりますので、別途お問い合わせ願います。 ※ 特に、エアフィルタは機器の設置環境によって、メンテナンスサイクルが異なります。 ※ 電動機のメンテナンスは専門業者に依頼してください。																	

■ユニット構成図

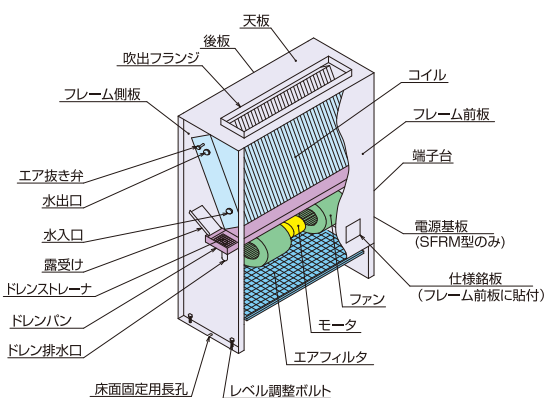
●天井吊り隠ぺい形 (SCR・SCRM型)



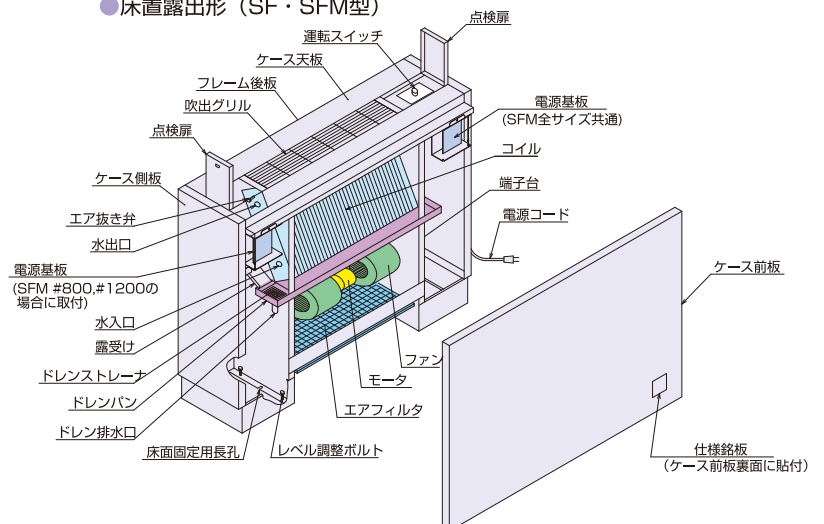
●カセット形 (CP・CPM型)



●床置隠ぺい形 (SFR・SFRM型)



●床置露出形 (SF・SFM型)



※このメンテナンス時間表は空調機の保守点検の目安としていただく表になります。

標準メンテナンスサイクル 【1日10時間運転,年間3000時間稼働】		▲ 点検調整	△ 清掃	▽ 注油	◆ 分解点検											
		★ 洗浄	☆ 塗装	◇ 部品交換	◎ 取り替え											
		【▲点検調整】には清掃や補修塗装等を含みます														
品名	年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
① 圧縮機		▲	▲	▲	▲	▲	▲	◇	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
② 電子膨張弁		▲	▲	▲	▲	▲	▲	◇	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
③ 機内配管		▲	▲	▲	▲	▲	▲	◇	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
④ 電磁弁・四方弁		▲	▲	▲	▲	▲	▲	◇	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
⑤ 容器関係 (アキュムレータ等)		▲	▲	▲	▲	▲	▲	◇	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
⑥ 圧力遮断装置		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◇	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
⑦ クランクケースヒータ		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
⑧ 熱交換器		▲	▲	▲	▲	★	▲	▲	▲	★	▲	▲	★	▲	★	◎
⑨ 室外機ファンモータ		▲	▲	▲	▲	▲	▲	◇	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
⑩ 室外機ファン		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
⑪ 外装パネル		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◇	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
⑫ フレーム・底板		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◇	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎
⑬ 防振		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◇	▲	▲	▲	◎
⑭ 制御機器		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎

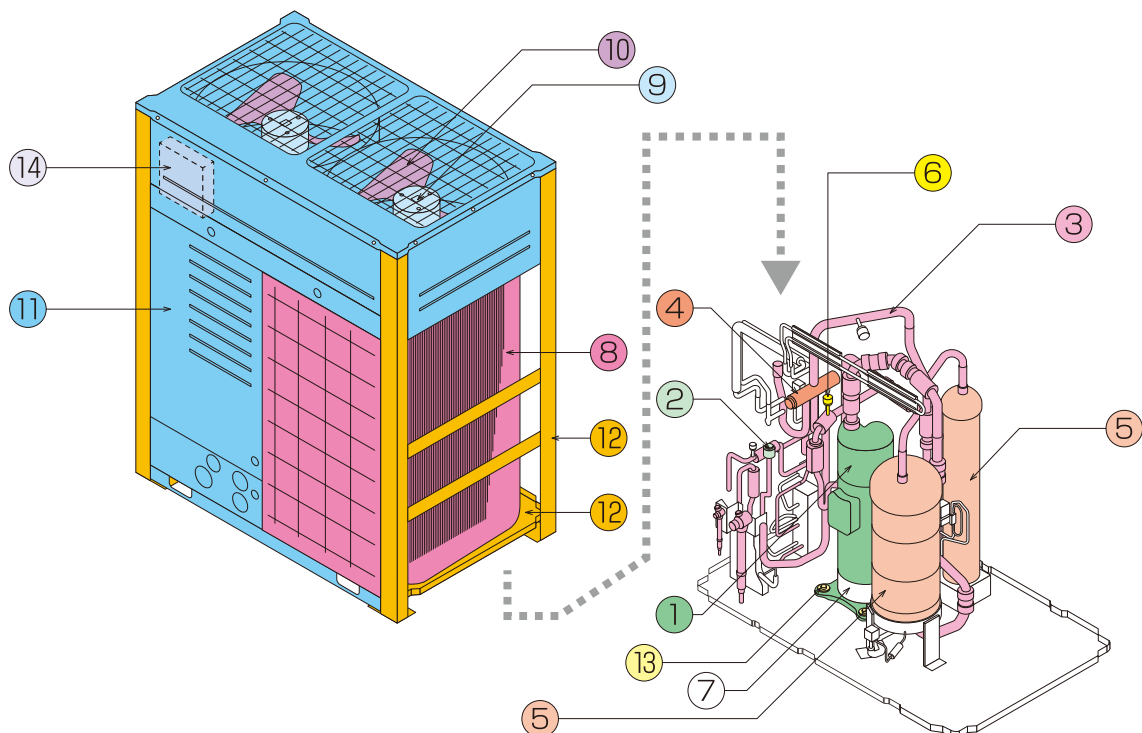
※メンテナンス時間表は、一般的な目安を示し、使用状況、設置条件等によって変化し、別途配慮が必要な場合があります。

※運転時間 1日10時間、年間3000日、年間3000時間

備考

特殊仕様は製品の詳細が若干異なり、内容やサイクルが変わりますので、別途お問い合わせ願います。

※運転電流値・異音・異常振動等は日常点検でもご確認いただくことをお勧めいたします。

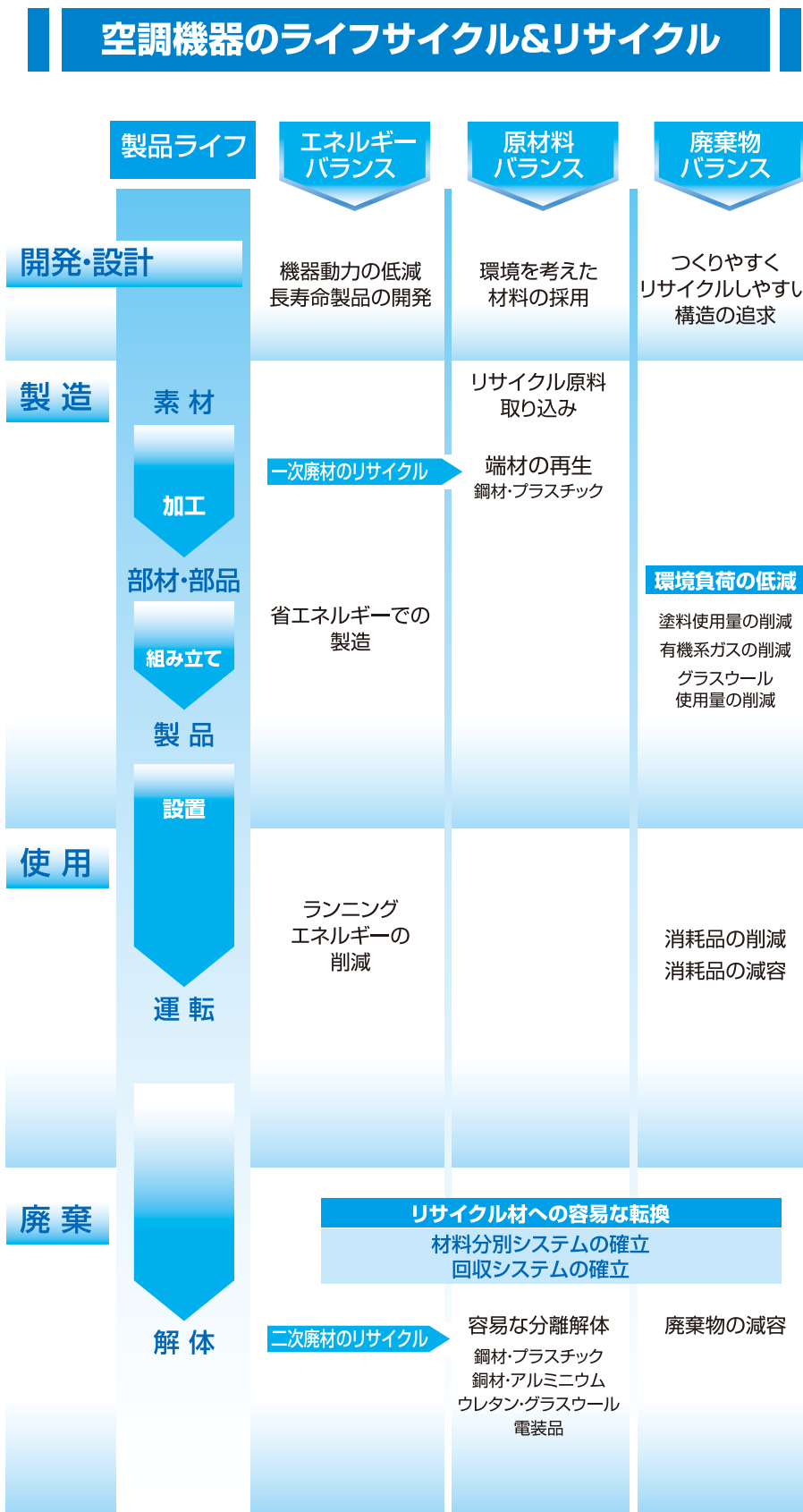


新晃工業は、業務用空調機トップメーカーの責任として、次世代によりよい環境を手渡すために着実な努力を続けています。

「設計-製造-使用-廃棄」のサイクルを見通した環境対策を進めています

環境問題への取り組みは、どのような人も、企業も避けて通ることのできない責任となっています。業務用空調機メーカーのリーディングカンパニーである新晃工業も、環境問題に対して積極的な取り組みを行っています。しかし、この問題は一朝一夕に解決できるものではなく、地球に生きる人や企業にとっての姿勢として継続的に研究され、実践していくべき性格のものです。


いま空調機メーカーは、どういう姿勢に立つべきなのか？環境をどのように考えなくてはならないのか？まず最初にやらなくてはならないことは何なのか？さまざまな試みを新晃工業は重ねています。

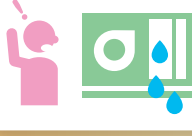



新晃工業の最新技術と経験を共有するメンテナンス会社

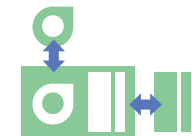
新晃グループには、メンテナンスに特化して技術を研鑽しているセクションがあります。お客様に一番近い位置で、さまざまなご要望を直接うかがうとともに、新晃工業がこれまでに販売してきた空調機器のメンテナンス、整備工事および最新の空調機器への更新工事等を行っています。新晃グループの技術部門、生産部門、販売部門、企画部門のすべてのセクションと情報を交換し合うことで、最新の技術と知識を共有。お客様に対して良質なサービスと、よりよい提案が提供できるよう研鑽を重ねています。


こんな時は、ぜひご相談ください。


- 

空調機が動かない。
- 

空調機から水が漏れてきた。
- 

ベアリングから凄い音がしている大丈夫か…?
- 

そろそろ空調機のオーバーホールを考えなくては。。
- 


古くなった空調設備を新しくしたいのだけど。
- 

やっぱり、定期的な点検をしてもらいたいなあ。

エアクリニック

受付窓口

新晃アトモス株式会社


0800-919-4190
通話料金無料 クイック ヨイ クーチャオー

・各エリア受付窓口にお繋ぎいたします。
受付時間：平日 9:00～17:00
すでにお取引いただいているお客様、保守契約いただいているお客様は、最寄りの営業所か各営業担当者へご連絡ください。

**現場調査
サービスマンによる緊急対応**

より快適な空調環境へのご提案

**機器の調整、改修工事などで
空調機を最適な状態に**

新晃アトモス株式会社

東京本部
〒135-0007 東京都江東区新大橋1丁目11番4号 ☎03-5638-3800(代)

大阪支社
〒572-0856 大阪府寝屋川市宇谷町11番13号 ☎072-811-3160(代)

東北支店
〒980-0813 宮城県仙台市青葉区米ヶ袋1丁目3番43号 ☎022-216-2770(代)

大宮営業所
〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町2丁目75番地 ☎048-658-5121(代)
大宮フコク生命ビル8階

世田谷営業所
〒154-0014 東京都世田谷区新町2丁目27番4号 ☎03-5450-6401(代)

千葉営業所
〒260-0028 千葉県千葉市中央区新町1番地17号 ☎043-204-2115(代)
JPR千葉ビル9階

名古屋営業所
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3丁目11番33号 ☎052-209-9941(代)
マニユライフプレイス名古屋8階

九州営業所
〒812-0039 福岡県福岡市博多区冷泉町5番35号 ☎092-291-4332(代)
福岡祇園第一生命ビル4階

沖縄営業所
〒900-0031 沖縄県那覇市若狭2丁目3番21号 ☎098-868-5561(代)
新里ビル2階

【 1次診断調査シート 】

Webからも
お問い合わせいただけます



ご連絡先	会社名:	部署:
	ご担当者名:	TEL:
	E-メールアドレス:	
	住所:	FAX:

施設名					
機器名称	機器仕様	送風量	m ³ /h		
用途		電動機(モータ)	kW		
風量制御方法		加湿器種類			
設置場所		フィルタ種類			
製造者		運転電流値	A		
製造年月日		風量調整機構	スクロールダンパ開度	%	
製造番号			インバータ周波数	Hz	

項目	内容	はい	いいえ	備考 (詳細)
経過年数	経過年数15年以上			
	オーバーホール後5年以上			
修繕経歴	① 骨組、外板			
	② 送風機(ファン)			
	③ 電動機(モータ)			
	④ 軸受			
	⑤ コイル			
	⑥ 加湿器			
	⑦ エリミネータ			
	⑧ フィルタ			
	⑨ インバータ盤			
	⑩ バルブ			
性能劣化等	① 送風量不足			
	② 冷温水出入口温度差 が計画値であるか			
	③ 加湿不足			
	④ ドレン処理不良			
	⑤ 騒音・振動・エア漏れ			
	⑥ 機器腐食・変形			
現在の保守計画	① 定期点検			
	② 送風機(ファン)			
	③ 電動機(モータ)			
	④ 加湿器			
	⑤ フィルタ			
	⑥ インバータ			
	⑦ バルブ			

その他お困りのことやご要望

新晃工業株式会社

本社：大阪市北区南森町1丁目4番5号	〒530-0054	☎(06) 6367-1811	札幌営業所：札幌市中央区北2条西4丁目1番地	〒060-0002	☎(011) 231-2947
東京本社：東京都中央区日本橋浜町2丁目57番7号	〒103-0007	☎(03) 5640-4159	東北営業所：仙台市青葉区中央1丁目6番35号	〒980-0021	☎(022) 262-7445
東京支社：東京都中央区日本橋浜町2丁目57番7号	〒103-0007	☎(03) 5640-4155	九州営業所：福岡市博多区冷泉町5番35号	〒812-0039	☎(092) 291-8545
大阪支社：大阪市北区南森町1丁目4番5号	〒530-0054	☎(06) 6367-1801	SINKOテクニカルセンター：秦野市菩提160番地の1	〒259-1302	☎(0463) 75-1977
名古屋支社：名古屋市中村区名駅南1丁目24番30号	〒450-0003	☎(052) 581-8661			

www.sinko.co.jp

新晃アトモス株式会社

東京本部：東京都江東区新大橋1丁目11番4号	〒135-0007	☎(03) 5638-3800	千葉営業所：千葉市中央区新町1番地17号	〒260-0028	☎(043) 204-2115
大阪支社：寝屋川市宇谷町11番13号	〒572-0856	☎(072) 811-3160	名古屋営業所：名古屋市中区錦3丁目11番33号	〒460-0003	☎(052) 209-9941
東北支店：仙台市青葉区米ヶ袋1丁目3番43号	〒980-0813	☎(022) 216-2770	九州営業所：福岡市博多区冷泉町5番35号	〒812-0039	☎(092) 291-4332
大宮営業所：埼玉県さいたま市大宮区仲町2丁目75番	〒330-0845	☎(048) 658-5121	沖縄営業所：那覇市山下町5番21号	〒900-0027	☎(098) 840-1130
世田谷営業所：東京都世田谷区新町2丁目27番4号	〒154-0014	☎(03) 5450-6401			

www.sinko.co.jp/ska

